

ルーミー/トール モデリスタ バージョン

サイド スカート 取付要領書

品番 D2611-64510-XX
MSD44-B1008/9-XX
品番 D2611-64910-XX

設定型式:M9#0A-GB##/M9#0S-GB## 設定グレード:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、サイドスカートの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- サイドスカートを取り付け部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず一方向に拭いて脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマーN-200を本品に添付)
- Ⓢ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- Ⓢ 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- Ⓢ 両面テープの圧着を十分に行なって下さい。49N(5kgf)以上
- Ⓢ フロントホイールアーチ及びリヤホイールアーチ、車両ロッカーパネル下面のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

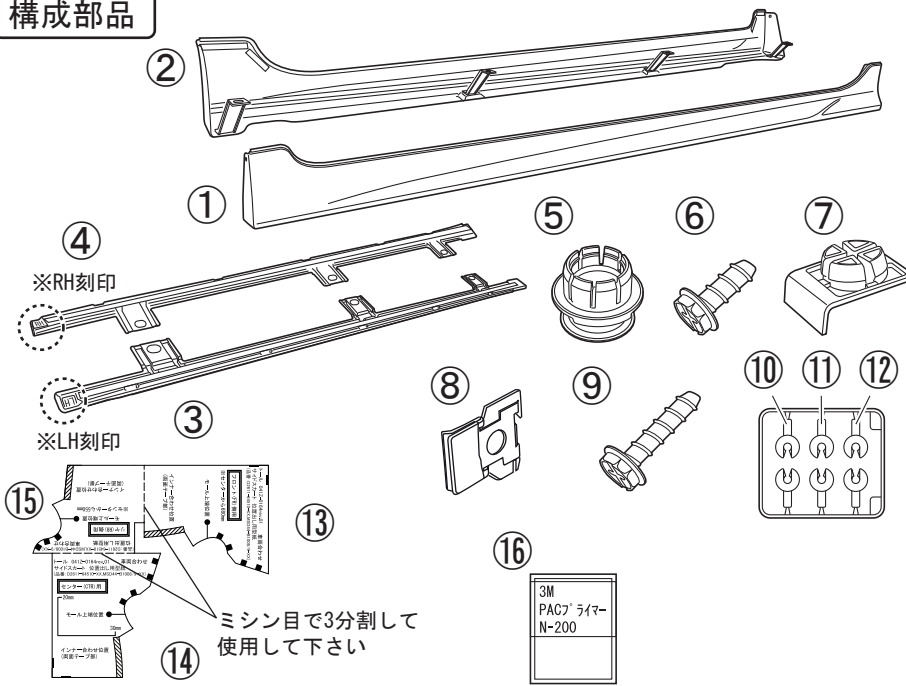
取り付け完了後の点検・注意事項

- サイドスカートが、ホイールアーチ、車両ロッカーパネルに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両ロッカーパネルとサイドスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



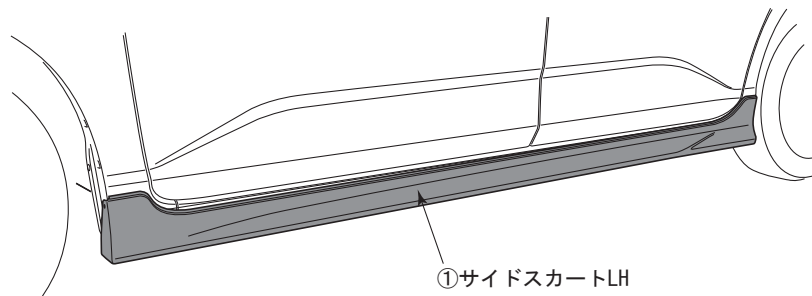
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカート LH	1
②	サイドスカート RH	1
③	インナー LH	1
④	インナー RH	1
⑤	プッシュプルグロメット	6
⑥	タッピングスクリューM6×12	8
⑦	グロメット	4
⑧	スプリングナット	2
⑨	タッピングスクリューM5×20	2
⑩	つまみ付スペーサー(1mm)	2
⑪	つまみ付スペーサー(2mm)	2
⑫	つまみ付スペーサー(3mm)	2
⑬	位置出し型紙(FR用)	1
⑭	位置出し型紙(CTR用)	1
⑮	位置出し型紙(RR用)	1
⑯	PACプライマー-N-200	1

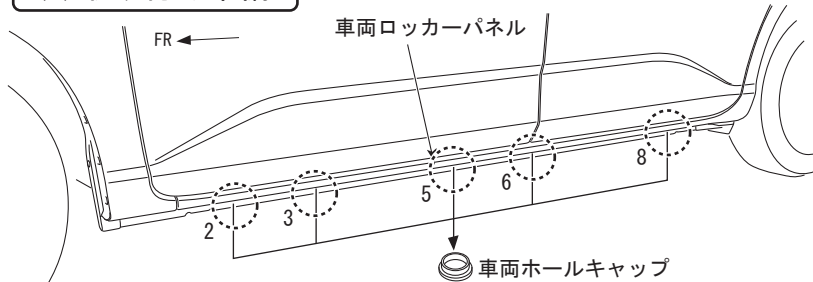
取り付け概要



※本書は車両左側で説明しています。右側も同様に作業を行なって下さい。

取り付け手順

(1) 取り付け準備

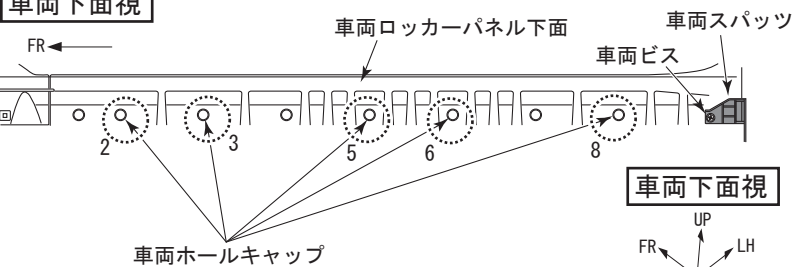


1. 車両ロッカーパネル下面のホールキャップの前側から2. 3. 5. 6. 8番目を取り外す。(5カ所)
2. リヤホイールハウス下面部の車両スパッツを固定している車両ビスを取り外す。(1カ所)

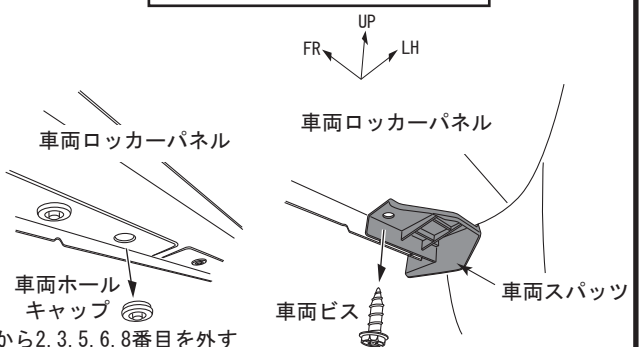
アドバイス

・取り外した車両ビスは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

車両下面視



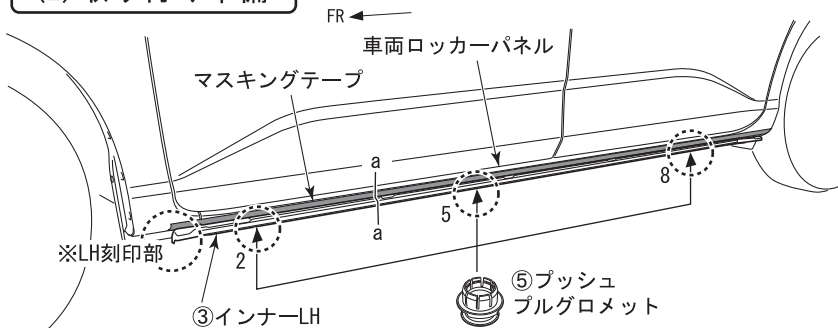
リヤホイールハウス下面視



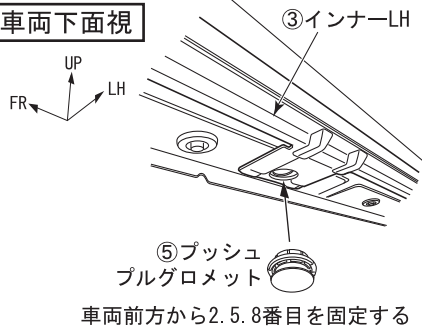
LH図示

※RHも同様

(2) 取り付け準備

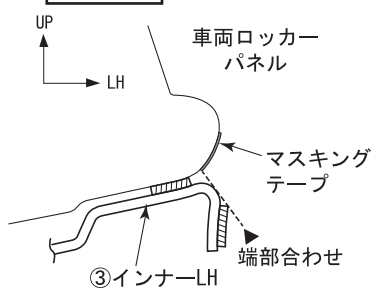


車両下面視



車両前方から2.5.8番目を固定する

Sec. a-a



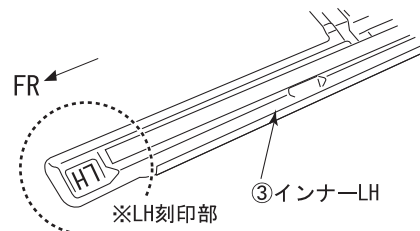
LH図示

※RHも同様

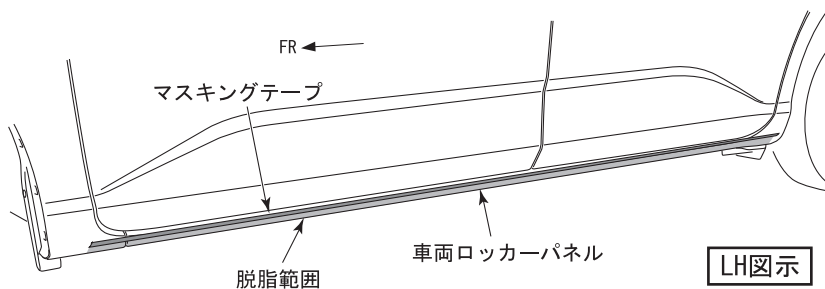
- ③インナーLHを車両ロッカーパネルにあてがい、下面図示位置を⑤プッシュプラグロメットで固定する。(3カ所)
- 左図の要領で③インナーLH上端にあわせてマスキングテープでマスキングする。

アドバイス

- プライマー塗布の為のマスキング作業です。プライマーのはみ出しを避ける為に、外周形状に合わせて正確にマスキングを行なって下さい。
- ①サイドスカートLHの刻印を確認し、インナーLH/RHを逆に取り付けないように注意して下さい。



(3) 取り付け準備

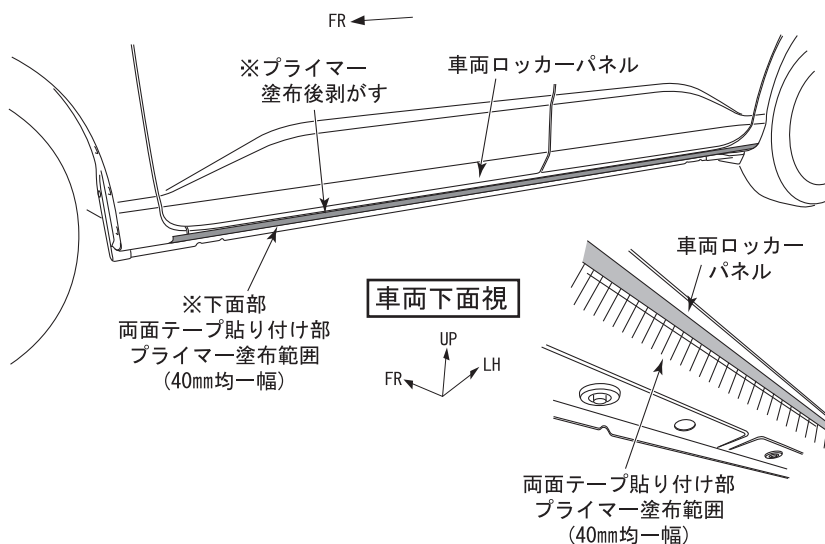


LH図示

※RHも同様

- ③インナーLHを一旦取り外し、左図■部を一方方向に拭いて脱脂する。

(4) 取り付け準備



LH図示

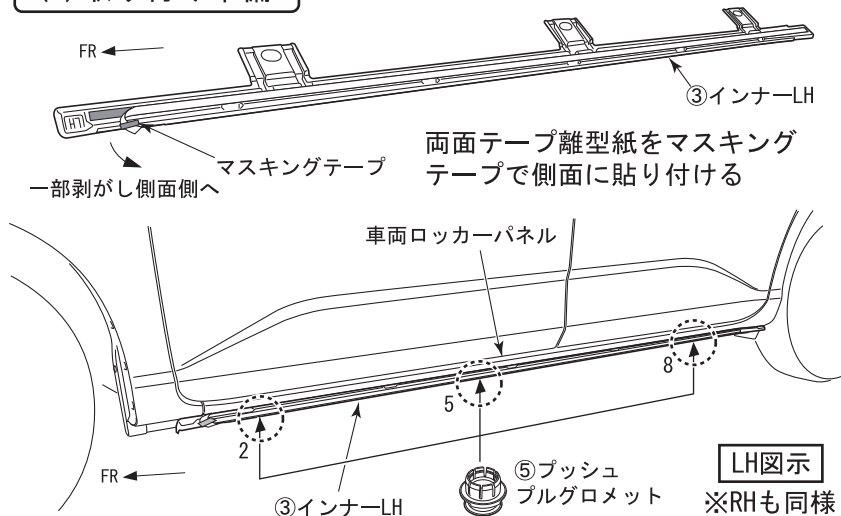
※RHも同様

- 両面テープ貼り付け部(左図斜線部内側40mm均一幅)に⑩PACプライマー-N-200を塗布する。
- ⑩PACプライマー-N-200塗布後、マスキングテープを剥がす。

アドバイス

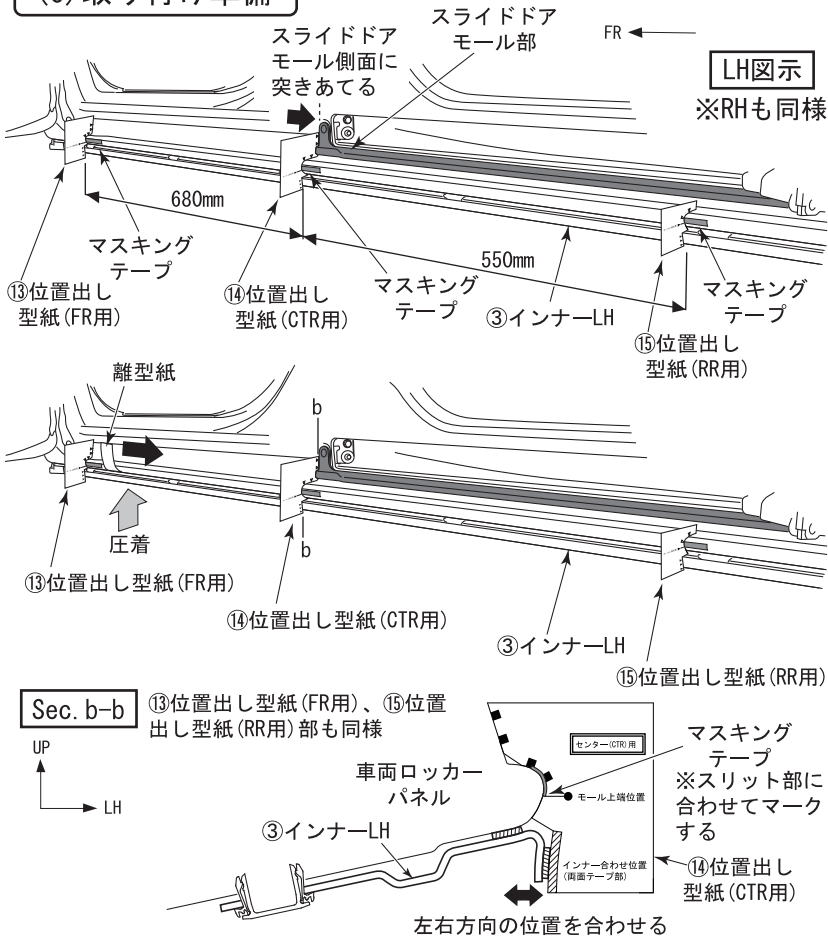
- ⑩PACプライマー-N-200は①サイドスカートLH取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑩PACプライマー-N-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑩PACプライマー-N-200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(5) 取り付け準備



- ③インナーLH上側の両面テープ離型紙を前側から一部剥がし、側面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(1カ所)
- ③インナーLHを車両ロッカーパネルにあてがい、下面図示位置を⑤プッシュブルグロメットで固定する。(3カ所)

(6) 取り付け準備



- 車両フロントドア及びリヤドアを開け、図示位置へ⑬位置出し型紙 (FR用)、⑭位置出し型紙 (CTR用)、⑮位置出し型紙 (RR用) を車両ロッカーパネル形状に合わせてあてがい、**型紙記載のモール上端位置をマスキングテープでマークする。**(3カ所)
- 型紙記載の▨部に③インナーLHを合わせながら、前側から徐々に引き抜き圧着する。

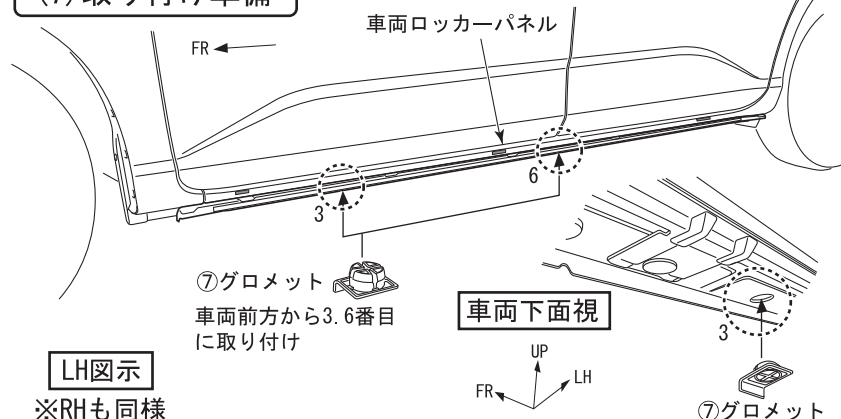
アドバイス

- 離型紙が途中で切れない様に、③インナーLHを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

重要

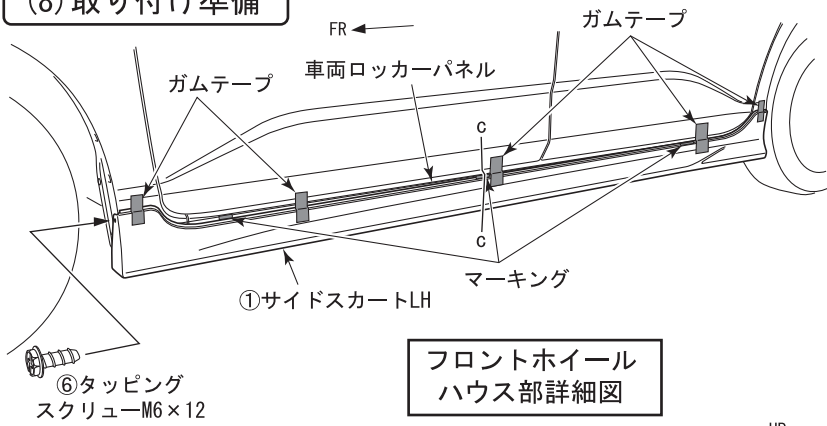
- 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。

(7) 取り付け準備

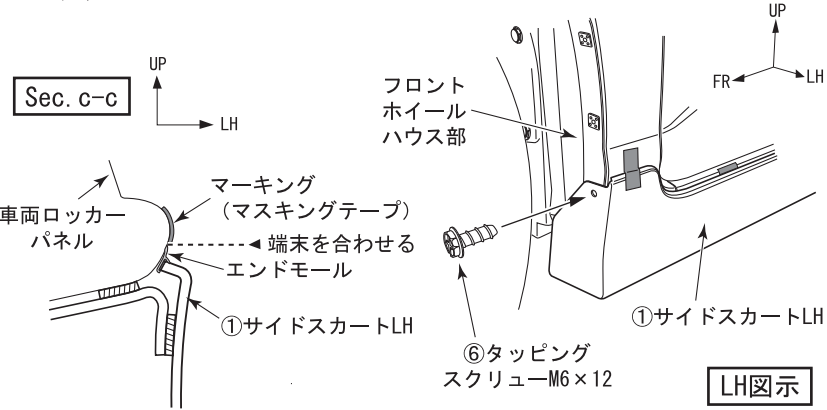


- 車両ロッカーパネル下面図示位置に⑦グロメットを取り付ける。(2カ所)

(8) 取り付け準備



**フロントホイール
ハウス部詳細図**



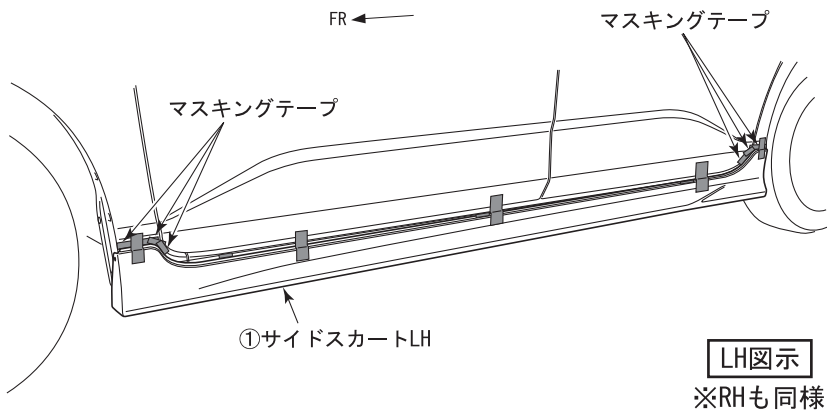
LH図示
※RHも同様

- ①サイドスカートLHをフロントホイールハウス部の穴位置及び、マーキングとエンドモール上端を合わせて、前側基準で押しあて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。
- フロントホイールハウス部を⑥タッピングスクリューM6×12で仮固定する。
(1カ所)

アドバイス

- 仮組みの際、バラツキを後に逃がすため、必ず、フロント側を基準に合わせて下さい。

(9) 取り付け準備



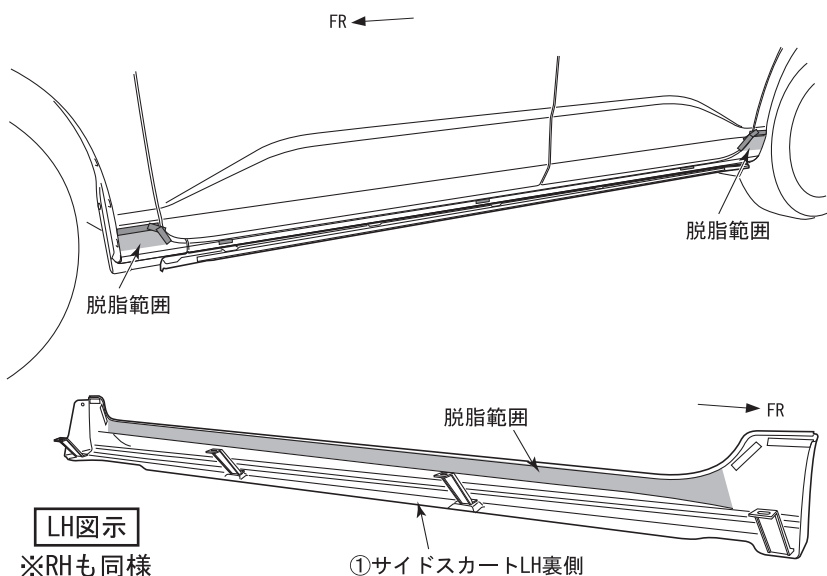
LH図示
※RHも同様

- 左図の要領で①サイドスカートLH前部及び後部のエンドモール上端に合わせてマスキングテープでマスキングする。

アドバイス

- プライマー塗布の為のマスキング作業です。プライマーのはみ出しを避ける為に、外周形状に合わせて正確にマスキングを行なって下さい。

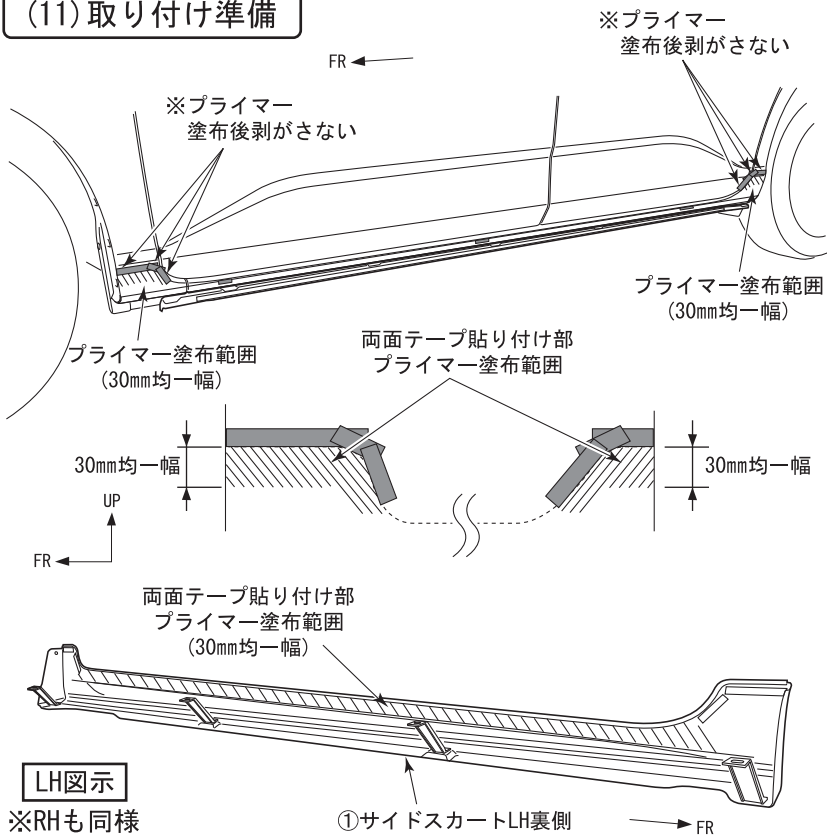
(10) 取り付け準備



LH図示
※RHも同様

- ①サイドスカートLHを一旦取り外し、左図 ■ 部を一方方向に拭いて脱脂する。

(11) 取り付け準備

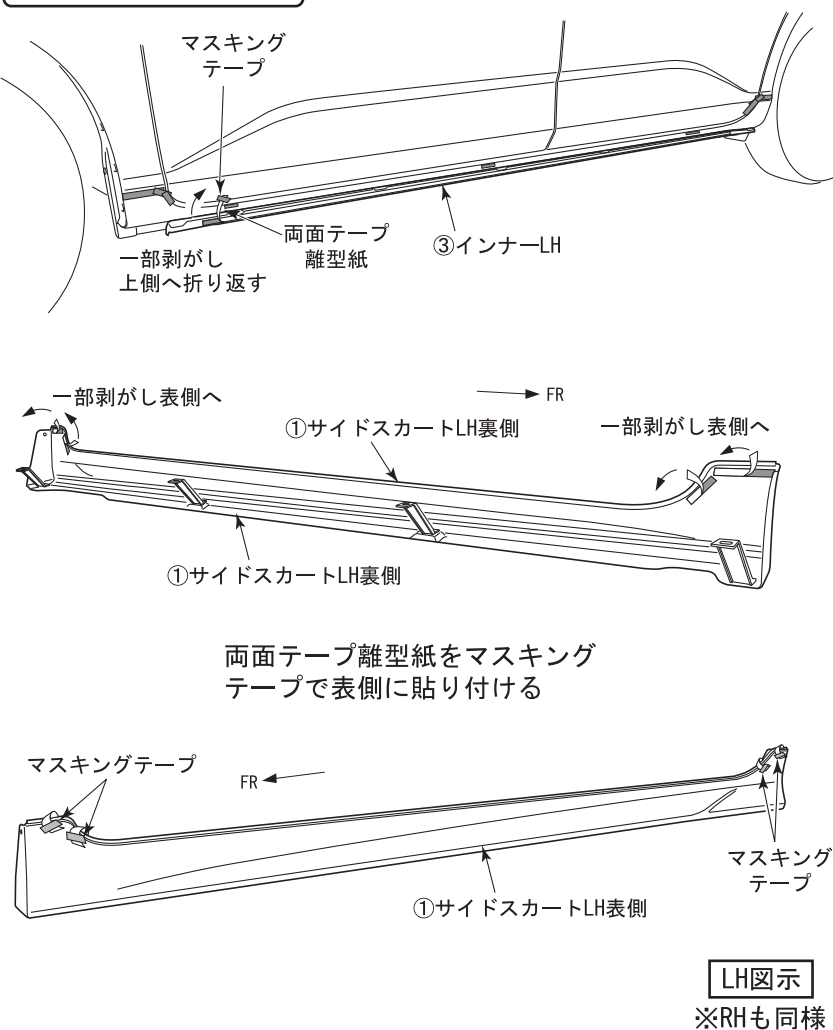


1. 車両ロッカーパネル及び、①サイドスカートLH裏側の両面テープ貼り付け部 (左図斜線部)に⑩PACプライマーN-200を塗布する。⑩PACプライマーN-200塗布後、マスキングテープは①サイドスカートLH取り付け時にマークになりますので、剥がさないで下さい。

👉 アドバイス

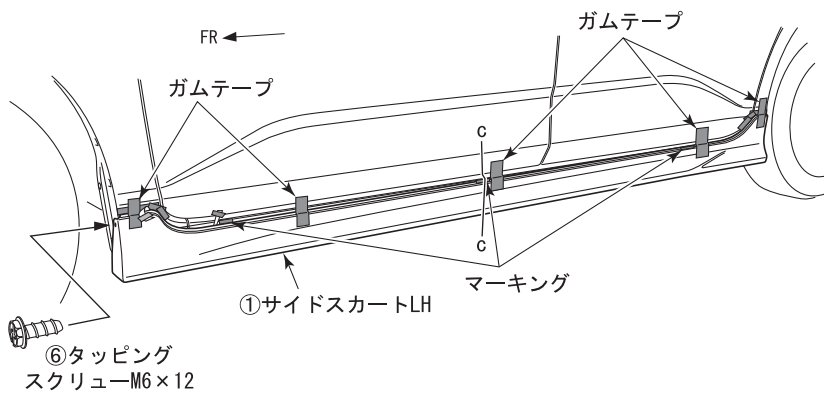
- ・⑩PACプライマーN-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑩PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(12) 取り付け準備

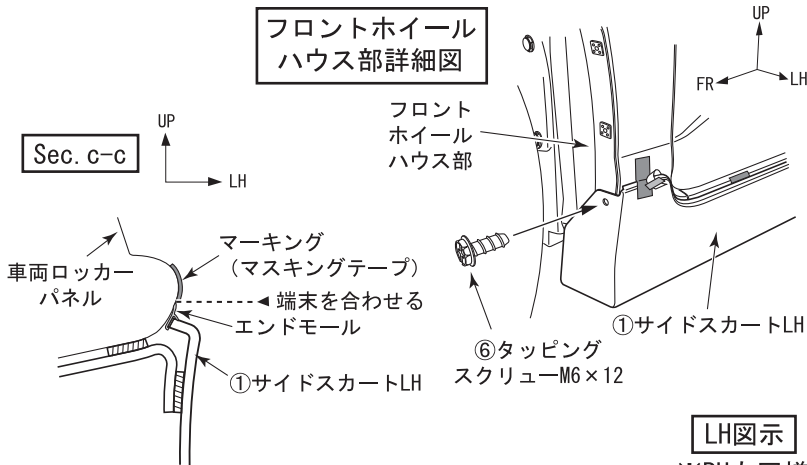


1. ③インナーLH前部側面の両面テープ離型紙を一部剥がし、上側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
2. ①サイドスカートLHの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(13) 取り付け



フロントホイール ハウス部詳細図



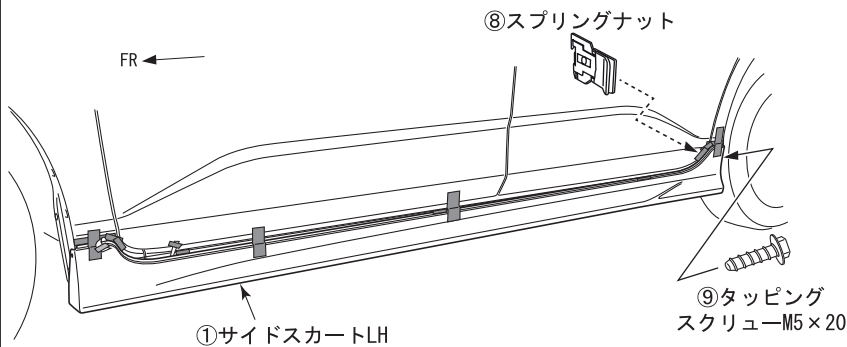
LH図示
※RHも同様

- ①サイドスカートLHをフロントホイールハウス部の穴位置及びマーキングとエンドモール上端を合わせて、前側基準で押しあて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。
- フロントホイールハウス部を⑥タッピングスクリューM6×12で仮固定する。(1カ所)

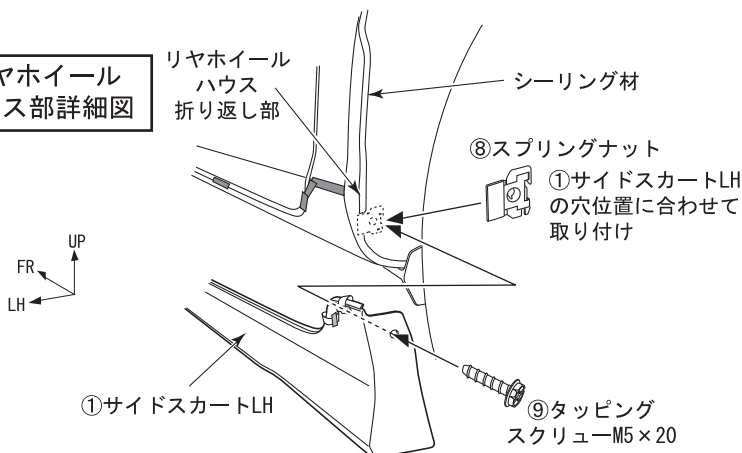
アドバイス

- 仮組みの際、バラツキを後に逃がすため、必ず、フロント側を基準に合わせて下さい。

(14) 取り付け



リヤホイール ハウス部詳細図



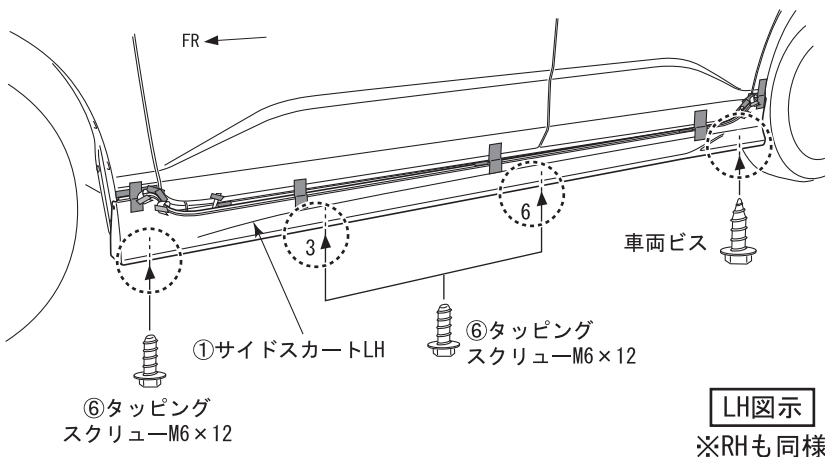
LH図示
※RHも同様

- ①サイドスカートLHの穴位置に合わせて、リヤホイールハウス部折り返し部に⑧スプリングナットを取り付け、⑨タッピングスクリューM5×20で仮固定する。(1カ所)

アドバイス

- ⑧スプリングナット取付時、シーリング材が干渉する場合は、カッターナイフ等で干渉部を取り除いて下さい。その際、ケガをしないよう十分注意して下さい。万一、車両の鉄板面が出てしまった場合は、タッチアップ等で防錆の処理を行って下さい。

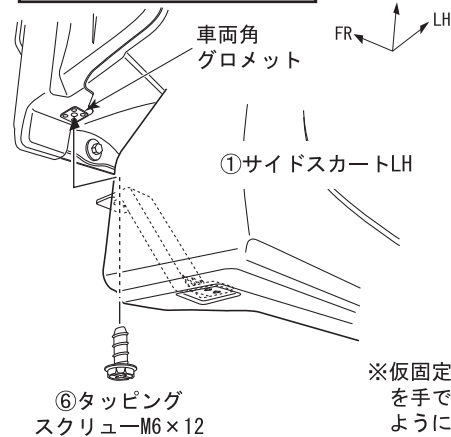
(15) 取り付け



LH図示
※RHも同様

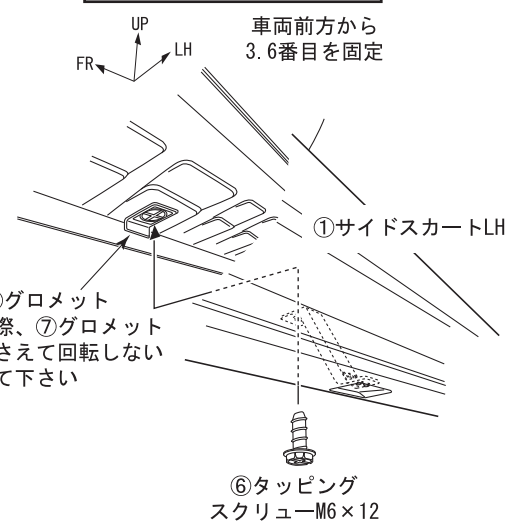
- ①サイドスカートLH下面前方のブラケット部を⑥タッピングスクリューM6×12で仮固定する。(1カ所)
- ①サイドスカートLH下面センター部のブラケット部を⑥タッピングスクリューM6×12で仮固定する。(2カ所)
- ①サイドスカートLH下面後方のブラケット部を車両ビスで仮固定する。(1カ所)

フロント側車両下面視

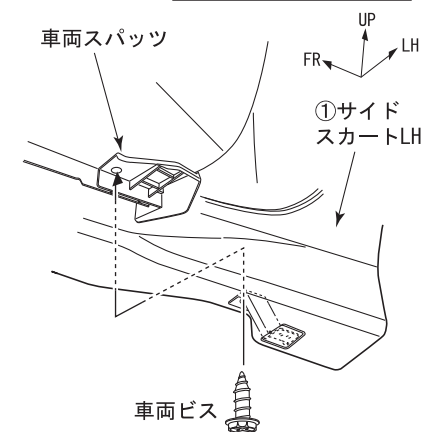


LH図示
※RHも同様

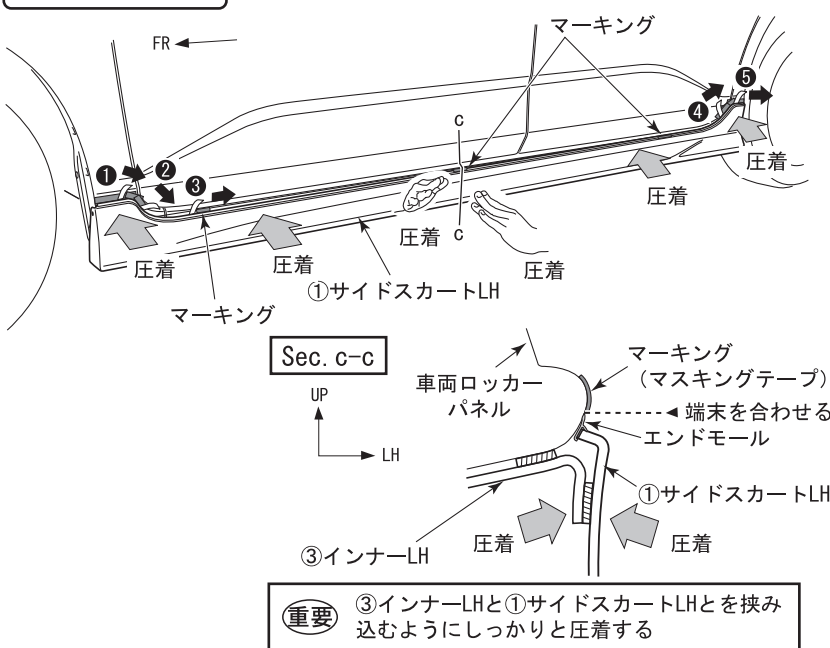
センター部車両下面視



リヤ側車両下面視



(16) 取り付け



LH図示
※RHも同様

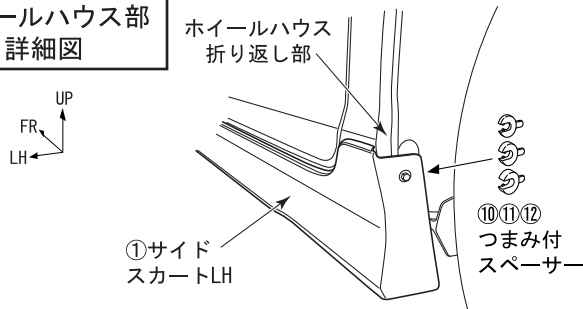
- 両面テープ離型紙を図示の①～⑤の順に徐々に引き抜きながら圧着する。その際、左図の要領で①サイドスカートLHのエンドモール上端をマーキングに合わせながら、**車両内側と外側から挟み込むように圧着する。**

アドバイス

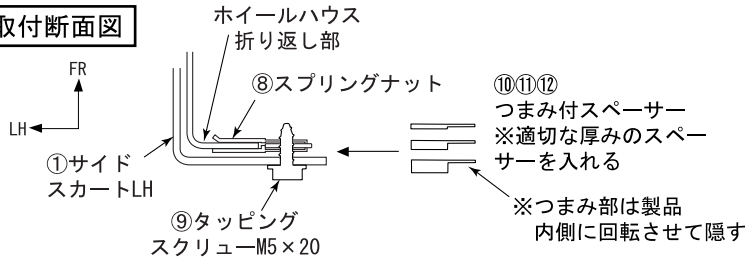
- ・離型紙が途中で切れない様に、①サイドスカートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

(17) 取り付け

ホイールハウス部
詳細図



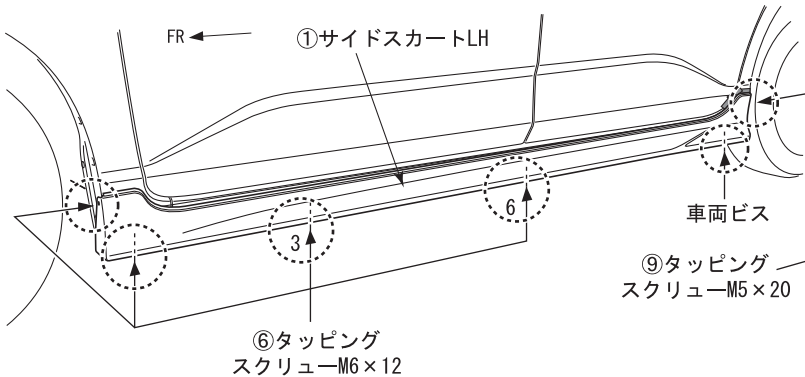
取付断面図



LH図示
※RHも同様

1. ①サイドスカートLHとホイールハウス折り返し部との間に隙間がある場合は、適切な厚みのつまみ付スペーサーを入れる。(1カ所)
 2. つまみ付スペーサーのつまみ部を①サイドスカートLH内側に回転させて隠す。(1カ所)
- (重要)**
3. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。
 4. 全てのマスキングテープを剥がす。

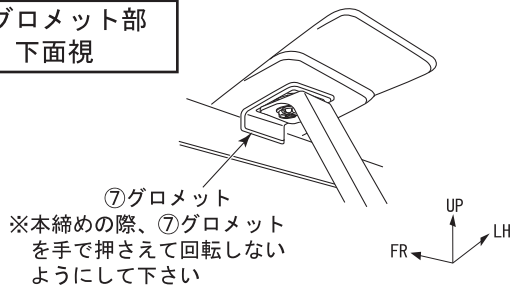
(18) 取り付け



取付ビスを本締めする (6カ所)

LH図示
※RHも同様

⑦グロメット部
下面視



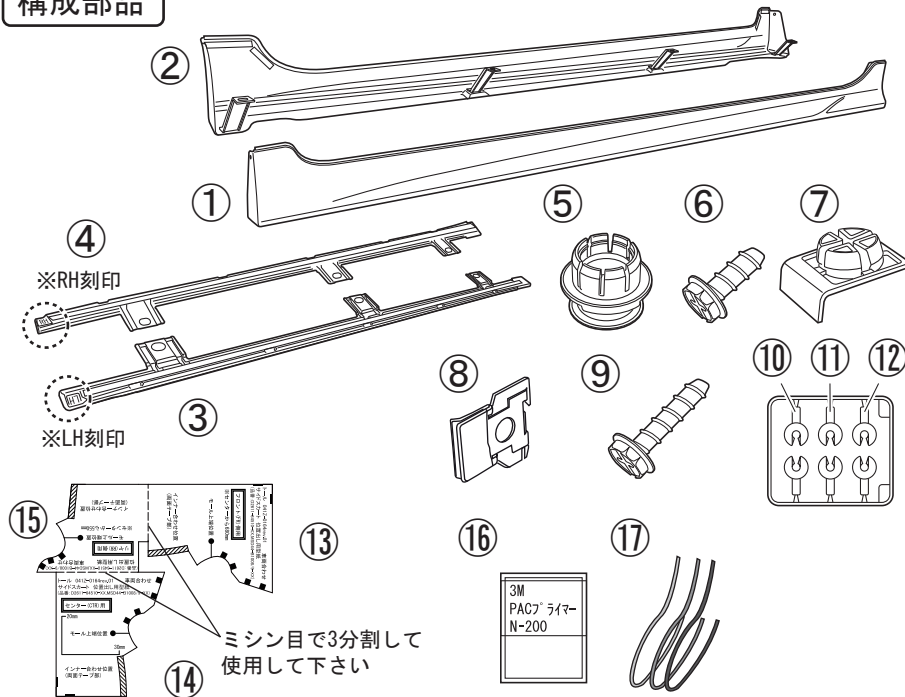
1. 全ての両面テープ接着面を3時間後に全て再圧着する。
2. 全てのビスを本締めする。(6カ所)

アドバイス

- ・⑦グロメット部を本締めする際、回転しないよう手で押さえながら固定して下さい。

サイドスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカート LH	1
②	サイドスカート RH	1
③	インナー LH	1
④	インナー RH	1
⑤	プッシュプルグロメット	6
⑥	タッピングスクリュー-M6×12	8
⑦	グロメット	4
⑧	スプリングナット	2
⑨	タッピングスクリュー-M5×20	2
⑩	つまみ付スペーサー(1mm)	2
⑪	つまみ付スペーサー(2mm)	2
⑫	つまみ付スペーサー(3mm)	2
⑬	位置出し型紙(FR用)	1
⑭	位置出し型紙(CTR用)	1
⑮	位置出し型紙(RR用)	1
⑯	PACプライマー-N-200	1
⑰	エンドモール	ライトグレー: 2 ダークグレー: 2 黒: 2

⑰エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
W24	パールホワイトⅢ	ライトグレー
S28	ブライトシルバーメタリック	ダークグレー
X07	ブラックマイカメタリック	ブラック
R67	ファイアークォーツレッドメタリック	ブラック
R75	コンパーノレッド	ブラック
R59	プラムブラウンクリスタルマイカ	ブラック
T33	ブリリアント銅パークリスタルマイカ	ブラック
B86	ターコイズブルーマイカメタリック	ダークグレー
B82	レーザーブルークリスタルシャイン	ブラック
P19	クールバイオレットクリスタルシャイン	ブラック

(1) 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

アドバイス

- ・脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- ・もし、ペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. 上塗り塗装を行なう。(本品の材質はABSです。)
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
4. 乾燥
注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60°C以下で乾燥させて下さい。

(2) エンドモールの貼り付け作業

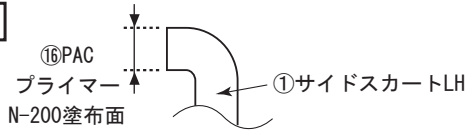
1. 塗装終了後、⑰エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑯PACプライマー-N-200を塗布する。

アドバイス

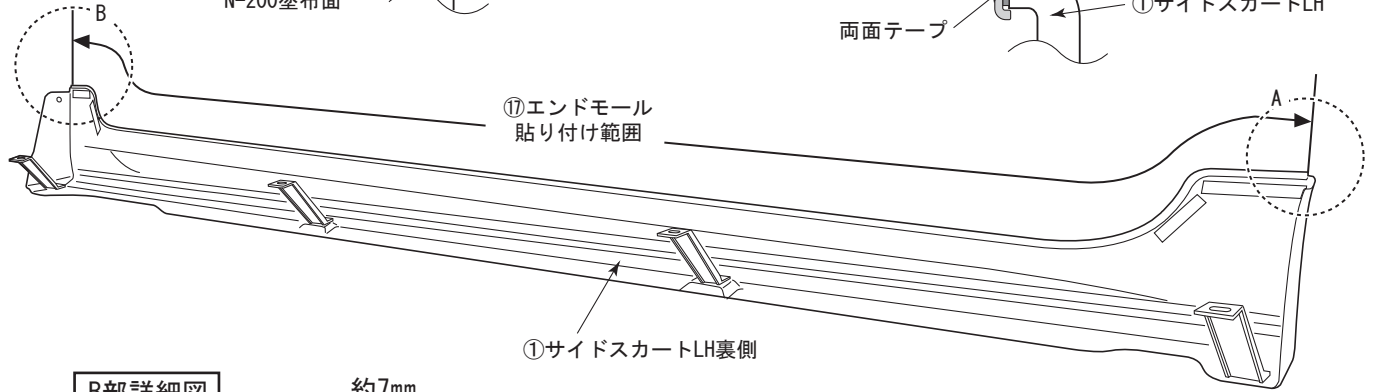
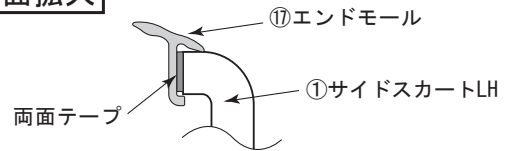
- ・⑯PACプライマー-N-200は①サイドスカートLH取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑯PACプライマー-N-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑯PACプライマー-N-200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑰エンドモールを貼り付ける。

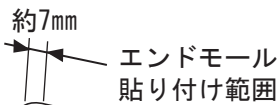
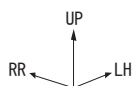
一般断面拡大



一般断面拡大



B部詳細図

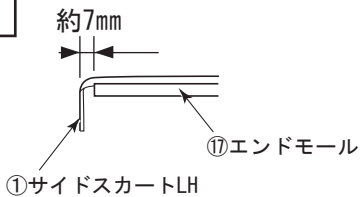


LH図示

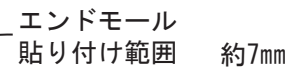
※RHも同様



上面視

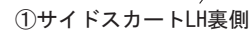


A部詳細図

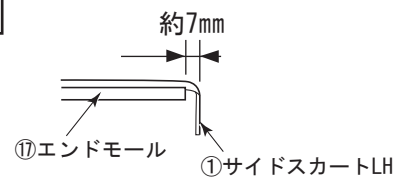


LH図示

※RHも (B部) 同様

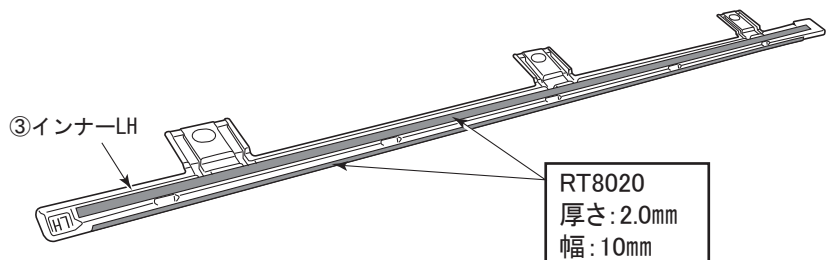
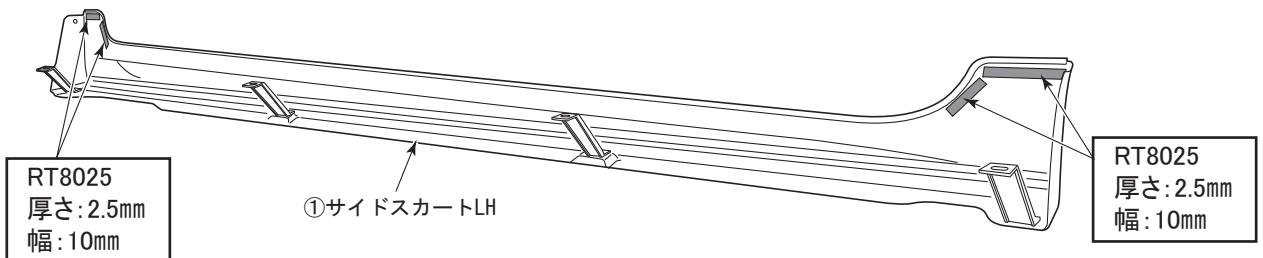


上面視



参考

1. 補修キット(品番:D2619-64510, MSD80-B1H07/D2619-64910)を使用してサイドスカートの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

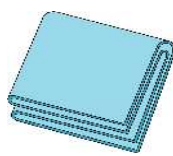


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

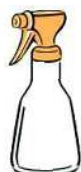
取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

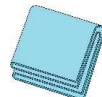
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



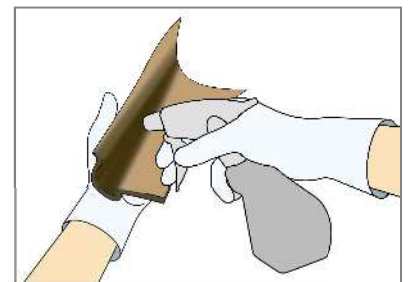
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

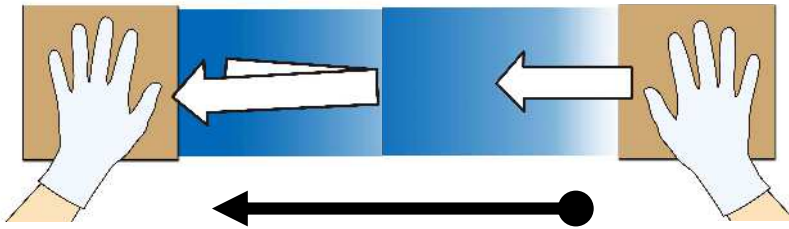
● 取付け面の脱脂作業を行う

① 【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

② 【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

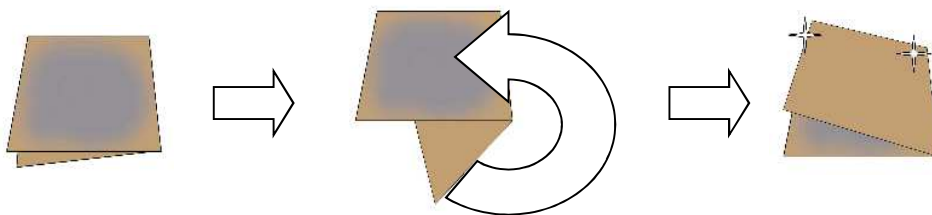
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。